

令和2年度の学校評価

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の特性に応じたきめ細やかな指導の推進 ・基本的な生活習慣及び学習習慣の確立 ・生徒の自主的活動を通しての活力ある学校づくりの推進 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
PTA活動 広報活動 (総務部)	・PTA活動の活性化	・PTAの活動の充実と推進のために内容を工夫する。	・PTAの役員と連絡を密に取り、PTA活動の活性化に努める。
	・情報発信の工夫	・魅力ある広報誌を作成するために、総務部内で意見を出し合い、レイアウトを工夫する。	・目を引くような情報誌作りのためにデザイン、写真等を吟味する。
学習指導 (教務部)	・新教育課程の編成	・令和4年度から始まる新教育課程の編成を、教育課程委員会を開き進めていく。	・教科、学年の意見を十分に確認しながら丁寧に議論を進めていく。
	・評価の方法の改善	・より適切な成績評価ができるように、教科主任会、教科会を通じて評価方法を検討していく。	・必要に応じて、内規や申し合わせ事項の変更も検討しながら進めていく。
生徒指導 (生徒指導部)	・授業規律の向上	・携帯電話、スマートフォンの使用マナーを徹底させる。	・授業中は電源を切って鞆にしまうよう全職員で統一した指導をする。
	・交通安全意識の向上	・「0の日」交通安全運動の実施	・交通マナー、交通ルールについて繰り返し指導をしていく。
	・公共心の育成	・全校集会等で、集団生活においてルールを守ること、身だしなみを整えることの必要性を伝える。	・公共の場での振舞いについて認識させ、安易な行動によって施設、設備の破損につながらないよう指導する。
特別活動 (特活部)	・行事内容の充実と整備	・学校行事等で昨年度の問題点を改善させよりよい行事に繋げる。	・分掌会、生徒会、生徒議会での審議を充実させて審議する。
	・生徒会活動の充実、及び自主的運営の促進	・生徒会執行部を定期的に招集し、学校行事を組織的、主体的に運営する方策について議論させる。	・執行部、生徒議会、各ホームルームの連絡を密に取らせる。
	・部活動の活性化と精選	・活動時間や活動日数等を適切な量を設定し、充実した活動にさせる。 ・部員数や活動の実態を見据えて部活数を精選していく。	・安全に留意し、充実した活動となるように指導する。 ・適切な休養を設定し、無理のない活動をする。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚を図るための進路情報の提供 ・国公立大学進学者を増やす ・個々の生徒の進路希望実現を目指してのあきらめない、あきらめさせない指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路室の学習環境を充実させる。 ・個々の生徒の希望に即した進路指導を実施し、個々の適性に合った様々な入試に挑戦させることで私大への合格者を確保し、さらには国公立大への挑戦を促す。 ・授業、補習、LT等を通じて最新の進路情報を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年団の先生方と常に密な連携を取り、進路部の指導方針(個々の生徒の特性を活かした受験への挑戦)を理解してもらい、挑戦させることを促す。 ・進路講話や各種資料の配付・掲示等を通じて、常に進路についての最新情報や様々な入試方式、適切な入試対策手段を提供し、進路意識を高めさせる。 ・最後まで、あきらめず取り組める環境を作る。
保健指導 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化の推進と環境整備 ・健康意識の高揚 ・委員会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動を充実させ、ゴミの減量を推進する。 ・健康官理に必要な情報を提供し、自身の健康管理に主体的に取り組ませる。 ・保健、美化、防災委員の活性化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を整え、取り組みやすい環境整備をする。 ・感染症予防について正しく理解させる。 ・受診勧告書の提出を促していく。 ・各委員に積極的に仕事をゆだねていく。
教育相談・特別支援 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のアンケート」の実施 ・相談委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒のメンタルヘルスの調査・分析を行う。 ・不登校傾向や悩みを抱えている生徒について、情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの蓄積を踏まえ、より取り組みやすい方法を模索していく。 ・速やかな対応ができるように、密な情報共有を心掛ける。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
図書館活動 (図書部)	<ul style="list-style-type: none"> 「NOAH」の校内利用マニュアルの作成 蔵書の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の実態に沿うように、システムの利用法を構築する。 教科の意見を聞きながら、除籍する書籍を検討し、より利用価値の高い書籍を選書するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解しやすいマニュアル作成を目指す。 除籍の判断を丁寧に行い、選書は著しいジャンルの偏りが無いように気を付ける。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止に係る取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとした活動を行い、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。 いじめの情報収集、事案対処に係る「いじめ・不登校対策委員会」の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。 いじめアンケートの実施方法や、その後の対処のあり方について検証し、いじめの早期発見と適切な対処につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がいじめ問題について主体的に考え、自らに関わる問題と捉えられるようにする。 「いじめ・不登校対策委員会」の役割を生徒や保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境作りを行う。 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況記録の活用 年次休暇の使用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況が月に80時間を超える職員がいなくなるように、積極的に職員に声掛けをする。 在校時間等の状況記録結果を活用し、業務適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。 教職員の年次休暇の計画的な使用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1か月間の時間外労働が80時間を越える教職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認を行い、教職員の健康障害防止に努める。 学校閉庁日や長期休業中を活用し、年次休暇の使用を促進する。
学年指導	(第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図るため、授業を大切に作る姿勢を培うとともに、課題期限の厳守を意識づける。 学校組織全体の一員としての意識を持たせ、身だしなみや携帯電話などのルールを守らせる。 総合的な学習の時間やLTなどで進路について考えさせ、将来の進路希望に沿った文理選択をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習効果を高めるためには、予習・授業・復習の連携が必要不可欠であることを示し、家庭学習の取り組みにつなげる。 身だしなみや、適切な携帯電話の使い方について考えさせる。 主体的、積極的な情報収集を促し、自ら考える場を多く設ける。
	(第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> 自己の適性や興味関心を探り、進路意識の向上を促す。 中心学年としての意識を持ち、集団の一員として主体的な学校生活を送る。 日々の生活をより有意義なものとするため、部活動や学校行事、修学旅行などで主体的に活動できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路調べ学習等を通して具体的に進路を考えさせ、オープンキャンパスなどでその実際を体験させる。 家庭での学習計画を事前に立てさせ、それを実現できるような指導を心がける。 生徒間の関わり方に目を向け、自分の意見を述べること、他人の意見を理解することを大切にし、集団を活性化していく。
	(第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> 最高学年としての意識を持たせ、集団の一員として主体的に活動する姿勢を育てる。 身だしなみや教室の環境整備など全員が快適な学校生活を送るために、生徒観察に努め、思いやりの心を育て、ルール・マナーを守らせる指導に努める。また、日々の学校生活をより有意義なものとするため、学習や学校行事などで主体的に活動できるようにするための支援に努める。 進路実現に向けて、日々の成果を記録する習慣をつけさせるとともに、自らの成長を実感できるような指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時や集会時に改めて身だしなみを見直させるなど、様々な機会に生徒に身だしなみを意識させるよう促す。 主体的な家庭学習を促すために、授業において、予習・復習の重要性やその具体的な方法を提示していくようにする。 総合的な学習の時間やLTなどで主体的に進路について考えたり、調べたりする機会を設けられるようにする。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> きめ細かな学習指導の徹底による基礎学力の向上 ルール・マナーの徹底による授業規律の向上 個々の生徒希望に即した進路指導による進路意識の高揚 防災知識の普及への積極的な取り組み 進路について調べ、考え、行動する主体的学習への取り組み 個別指導により進路希望実現を支援する取り組み アンケートや個人面談等による、いじめの防止・早期対応への取り組み 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止への取り組み 	